

学校経営方針

1 学校教育目標

自ら考え判断し行動できる自立した人間の育成



学校像	生徒像	教師像
A 生徒がいきいき活動している学校 B 保護者や地域から信頼される学校	C よく考え、自ら学ぶ生徒 D 自分や人を大切にし、仲間とともに学びあう生徒	E 協力・協働を大切にする教師 F 指導力の向上をめざして研修に励む教師



2 学校経営方針

- (1) 基礎学力の確実な定着に努め、自ら学び仲間とともに学び合う学習活動の実践を推進する
- (2) 生徒一人ひとりの個性と人権を尊重し、心のふれあいを大切にする教育活動を推進する
- (3) 家庭や地域と連携し、信頼される「開かれた学校づくり」に努める
- (4) 全職員の共通理解・共通実践と相互支援に基づく組織体制・組織文化を構築する

◎ 生徒生活行動目標 ～御浜中3原則～

①あいさつをしっかりとる	②掃除をしっかりとる	③授業にしっかりと取り組む
<ul style="list-style-type: none">・心のこもったあいさつをする・感謝の気持ちを伝える・人との関係を大切にする・互いに個性やよさを理解し、励まし合いながら活動する	<ul style="list-style-type: none">・働くことに喜びを見つける・協力して活動する態度を身につける・ゴミの分別や掃除の徹底で環境美化につとめる	<ul style="list-style-type: none">・授業に集中し、基礎基本をしっかりと身につける・自分で考え、判断し、目標や課題に粘り強く取り組む・自分の将来に夢をもち、自ら学ぶ力を身につける

3 学校経営方針に基づく具体的目標

(1) 基礎学力の確実な定着に努め、自ら学び仲間とともに学び合う学習活動の実践を推進する

【年間目標】

◎指導方法の工夫・改善をおこない、よくわかる授業の創造に取り組むとともに、自ら学ぶ態度の育成に努める

① きめ細やかな指導を行い、基礎学力の定着に努める

《具体的な取組》

★少人数授業やT T授業の充実

★ペアやグループ学習の活用

② 生徒の実態をふまえ、自ら意欲的に学ぶ力の育成に努める

《具体的な取組》

★学年や担任を中心とした学習相談や学習支援（定期テストの学習計画・反省、担任との懇談、自主的な学習会の開催など）

★家庭学習の充実

★学級連絡帳の活用

③ よくわかる授業の創造に向けて、指導方法の工夫改善に努める

《具体的な取組》

★大学や教育委員会から助言者やアドバイザーを招いての授業研究会の実施

★他校の視察や授業研究会への参加

★教師間での授業公開や授業見学の積極的な推進

④ 学習規律があり、生徒がお互いに認め合える学級集団づくりに努める

《具体的な取組》

★「御浜中3原則：③授業にしっかり取り組む」の指導の徹底

★特別支援を必要とする生徒へのきめ細やかな指導（T T教員の配置など）

★養護教諭やカウンセラーとの連携による教育相談の充実

★生活アンケートなどを活用した生徒理解を深める取組

⑤ 授業をはじめとするさまざまな活動を通して、「課題を見つけ、考え、判断し、行動する力」を養う

《具体的な取組》

★授業でのグループ学習などによる生徒相互の高め合い

★体育祭や文化祭、生徒会活動など生徒たちの自治的な活動の推進

★保護者や地域と連携したさまざまな体験学習活動の推進

(2)生徒一人ひとりの個性と人権を尊重し、心のふれあいを大切にする教育活動を推進する。

【年間目標】

◎お互いを一人の人間として尊重しあえる、人権感覚あふれる子どもの育成に努める

- ① 相談活動を充実させて生徒理解を深め、教職員全員で生徒に関わっていく体制づくりに努める

《具体的な取組》

- ★スクールカウンセラーや教育支援センター等との連携を深める
- ★さまざまな機会をとらえて、日常的な事例検討の中で生徒理解を深める
- ★企画委員会などの校内組織を活用し、学年間の情報共有をすすめる

- ② あらゆる場面を通じて人権感覚の育成を図る

◎自らの生き方を考え、将来の目標をもって進路選択ができるよう、系統的な進路指導に取り組む

- ① 自らの進路について考え、その進路目標の実現に向けて努力することのできる生徒の育成に努める

《具体的な取組》

- ★進路に関心を持ち、自らの適性や関心を知る学習をすすめる
(高校説明会や進路講話など)
- ★学年に応じた計画的なキャリア教育や進路相談活動を充実させる
(福祉体験学習や職業体験学習や学年を中心とした生徒との懇談など)

◎基本的な生活習慣や社会生活上のルールを身につけ、実践できる子どもの育成に努める

- ① 「◎生徒生活行動目標～御浜中3原則～(あいさつ・掃除・授業)」が定着する指導に全職員が協力して取り組む

◎子どもが安全かつ健康に学校生活を送れるように努める

- ① スポーツに親しませ、基礎体力や運動能力の向上、健康の増進をはかる
- ② 安全対策の充実を図るとともに、災害などから自らを守るための適切な行動がとれる生徒の育成に努める

《具体的な取組》

- ★防災ノートを活用した防災教育の推進
- ★救急救命法の体験学習会の開催(熊野市消防本部御浜分署との連携)
- ★防犯教室・薬物乱用防止教室・交通安全教室の開催(紀宝署との連携)

(3) 家庭や地域と連携し、信頼される「開かれた学校」づくりに努める

【年間目標】

◎学校や生徒たちの様子を家庭・地域に積極的に発信し理解を求める

- ① 学校教育活動への理解を得るための情報発信を積極的におこなう

《具体的な取組》

- ★学校ホームページの頻繁な更新
- ★学校だより「れいめい」や各学年の学年通信、保健通信などの発行
- ★育友会地区役員の協力による学校だより「れいめい」の地域配布

- ② 保護者や地域の方との交流の機会を積極的に設定し、相互理解を深める

《具体的な取組》

- ★都合の良い時間に授業参観や部活動見学のできる「学校開放日」を設定
- ★家庭訪問や保護者懇談会の充実（積極的な家庭との情報共有）

◎保護者や地域住民からの理解・協力により、特色ある教育活動を展開する

- ① 学校評議員制度の積極的な活用により、保護者や地域との連携をすすめ、学校教育への協力や支援を得て、地域に根ざした特色ある教育活動をすすめる
- ② 学校アンケートや学校自己評価を実施し、保護者や地域からの意見を学校運営の改善に反映させる

(4) 全職員の共通理解・共通実践と相互支援に基づく組織体制・組織文化を構築する

【年間目標】

◎信頼関係を大切にし、全員で協力して学校運営に関わる組織文化の構築に努める

- ① 企画委員会及び各プロジェクトチームを積極的に活用し、組織的かつ機能的な教育活動を推進する
- ② 「報告・連絡・相談」の確実な取組によって十分な共通理解を深め、全職員で協力して、「計画→実行→評価→改善」のサイクルを重視した学校経営を推進する

(5) 学校における労働安全衛生体制の整備に努める

【年間目標】

- ① 「教職員の総勤務時間の縮減に係る指針」を参考に勤務体制の改善を検討する
- ② 年次有給休暇の取りやすい職場環境づくりに努める

《具体的な取組》

- ★本年度は時間単位の年休取得を積極的に推進